



# 2024年4月1日(月) 山陽新聞プレミアム倶楽部にて 理事長 安藤正明医師の記事が掲載されました

「3D目の手術支援ロボットを導入  
されました。」  
昨年1月に最新機種「ダビチンS  
P」を国内で3番目導入し、3D立体  
制で低侵襲手術に取り組みます。  
これまでに婦人科と泌尿器科で約3千  
件のロボット支援手術を行い、実施  
数は全国トップクラスです。同機はア  
ームが本だけの「シングルボット」  
で手術が可能のため、傷跡が目立たず  
患者さんの体への負担が軽減できるこ  
うな利点があります。8月には体表面  
に傷をくもらないロボット支援下経筋  
的内視鏡手術を国内で初めて実施し

一般財団法人 倉敷成人病センター



理事長 安藤 正明 氏

## 手術支援ロボットで低侵襲治療

月には「ダビチンS.P」の前立腺がん  
手術を西日本で初めて実施しました。  
また既存の「ダビチンX1」でも直腸  
がんの手術を実施しました。今年4月  
から肺がんのロボット支援下手術を開

外来 病棟 手術の機能を集約した  
眼科の「アイセンター」では心身に負  
担の少ない低侵襲治療を推進。緑内障  
や白内障、角膜炎といった眼科疾患  
を抱える方への総合的な対応を行って

れでがん細胞を死滅させるという治療  
法で、岡山県内では当院を初めたる施  
設のみで受けられます。  
「女性のサポートに積極的です。  
婦人科低侵襲手術、骨盤臓器脱、専

を扱う産科産科、不妊治療などにも  
引寄せ力を注ぎます。昨年再開した  
市民公開講座では、今年も外反母趾、  
乳がんなどの女性向け講座を開催した  
いと考えています。  
「健診センターで取り組む「プレ  
ス・ンウェア」とは、  
「乳房を認識する生体画像を意味し  
ます。自分の乳房の状態を知り小さな  
変化に気づいてほしいとの考えで、視  
診時に「プレスト・ウェア」を広く  
めるうち取り組んでいます。年間5千  
人にも「健診センター」の乳がん検診受診  
者への啓発になればと思っています。



倉敷成人病センター

### 財団概要

所在地	〒710-8522 倉敷市白楽町250
電話番号	086-422-2111
事業内容	医療・健康事業
設立	1971年7月2日
従業員数	1280人
グループ	倉敷成人病クリニック 倉敷成人病健診センター
関連施設	JGHジャバングリーニククリニック、 JGHデンタルクリニック（シンガポ ール） JGHジャバングリーニクメディカルセ ンター（イギリス） JGH上海グリーンクリニック（中国）